

2019年10月30日

各位

会社名 G M O メディア株式会社
代表者 代表取締役社長 森輝幸
(コード番号 6180 東証マザーズ)
問い合わせ先 常務取締役 石橋正剛
T E L 03-5456-2626

当社親会社 G M O インターネット株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 グループ代表
熊谷正寿
(コード番号 9449 東証一部)

特別損失の計上、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、特別損失を計上するとともに、2019年2月8日付で発表しております2019年12月期通期業績予想及び配当予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

●特別損失の計上およびその内容について

当社は、WEBサービスやスマートフォンアプリのBtoCサービスを無料で提供し、その顧客接点を基に広告によって収益を得ており、さらにその顧客基盤を基にHTML5ゲームプラットフォーム「ゲソてん」を運営し課金収益も得ております。また、ゲーム課金事業の収益拡大のため、ゲームプラットフォームサービスの外部パートナーメディアへの提供、自社オリジナルゲームの開発・投入も進めています。

しかしながら、運用中の自社オリジナルゲームについて、将来収益および資産性の再評価を行った結果、31百万円のソフトウェアと75百万円の投資有価証券を減損処理いたしました。

以上の結果、2019年12月期第3四半期において、合計106百万円の特別損失を計上することといたしました。

なお、ゲーム課金事業においては、自社プラットフォーム／パートナーメディアを含め、サービス訪問者数・課金額ともに伸長しており、今後も拡大に注力してまいります。

●通期業績予想の修正について

1. 当期の業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,600	百万円 300	百万円 297	百万円 200	円 銭 115.51
今回修正予想(B)	4,100	20	20	▲87	▲49.96
増減額(B)-(A)	▲500	▲280	▲277	▲287	—
増減率(%)	▲10.8%	▲93.3%	▲93.2%	—	—
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	4,533	282	281	197	113.47

2. 修正の理由

売上高につきましては、前回発表予想時において見込んでいた、「prican」や「yaplog!」等のソーシャルメディア系サービスの訪問者数の減少トレンドが当初の見込みを上回ったことを中心に、広告収入が減少し、メディア事業において300百万円減少する見込みです（前回発表時点予想比で▲9.4%）。また、その他メディア支援事業においては、ITP問題等の広告市場の環境変化の影響を受け、200百万円減少する見込みです（前回発表時点予想比で▲14.3%）。その結果、売上高については4,100百万円となる見通しとなりました。利益につきましては、営業費用の削減に努めたものの、利益率の高いメディア事業の売上高減少に伴う利益の減少が大きく（前回発表時点予想比で▲92.1%）、また新規事業への投資を継続したことによる外注費や広告宣伝費等の販売管理費が高止まりしたことが影響し、営業利益は20百万円、経常利益は20百万円となる見通しです。

また、上記記載の通り、第3四半期に106百万円の特別損失を計上したため、当期純利益（損失）が前回予想を下回る見込みとなり、当期純損失87百万円となる見通しとなりました。

なお、当社では既報の通り、ソーシャルメディア系サービス「freeml」、「yaplog!」の終了を意思決定しております。引き続き選択と集中により、強みに特化した収益構造を構築し、早期の業績回復を図ってまいります。

●配当予想の修正について

1. 配当予想修正の内容

	年間配当金 (円)				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期 末	合 計
前回発表予想	0.00	0.00	0.00	58.00	58.00
今回修正予想				0.00	0.00
当期実績	0.00	0.00	0.00		
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	0.00	0.00	0.00	57.00	57.00

2. 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、配当性向 50%を目安に業績連動型の配当を行うことを基本方針としております。しかしながら、上記業績予想の修正により今後の事業展開に係る所要資金等の内部留保を勘案し、誠に遺憾ながら当期の期末配当予想を「無配」へ修正することといたしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げるとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想値と異なる可能性があります。